



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年10月22日

上場会社名 株式会社 植松商会

上場取引所 東

コード番号 9914

URL <http://www.uem-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植松 誠一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 阿部 智

(TEL) 022(232)5171

四半期報告書提出予定日 2021年10月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の業績 (2021年3月21日~2021年9月20日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,061	27.6	19	—	56	—	36	—
2021年3月期第2四半期	2,398	△29.2	△49	—	△25	—	△37	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	16.00	—
2021年3月期第2四半期	△16.20	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	4,690	2,938	62.6	1,282.03
2021年3月期	4,471	2,869	64.2	1,255.15

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 2,938百万円 2021年3月期 2,869百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の業績予想 (2021年3月21日~2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	17.8	20	—	70	—	37	—	16.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	2,340,000株	2021年3月期	2,340,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	48,263株	2021年3月期	53,513株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	2,289,112株	2021年3月期2Q	2,286,487株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期累計期間 (2021年 3 月 21 日～2021年 9 月 20 日) におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が広い範囲で継続的に適用され経済活動に大きな影響を及ぼしているものの、海外経済の回復に伴う輸出の増加は底堅く、緩やかな回復基調にあります。また、ワクチン接種が進むなどの明るい兆しも一部で見えますが、未だ感染収束の時期が見通せず、先行きは不透明な状況が続いております。

当機械工具業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による企業活動が制限される中で、半導体関連の好調や、輸出増加に加え精密機械や医療機械などの生産・出荷量が上向き設備稼働率も向上するなど一部の業種で回復の動きが見られますものの、一方で半導体不足の影響に加え、東南アジアの感染拡大などを背景に部品の調達が困難となり、国内外で自動車の減産は長期化が予想されるなど下振れリスクが懸念されており、先行きの不透明感が強まっている状況となっております。

このような状況のもと、当社は、新型コロナウイルス感染症の影響により満足な営業活動を行えない状況が長期化する中で、引き続き感染防止策や衛生管理対策を講じながら営業を継続し商品供給及びサービスの提供に努め、売上の回復を図ってまいりました。また、営業の効率化及び採算性を目的とした営業所の統合やあらゆる角度から利益創出に向けた対策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第 2 四半期累計期間の業績は、売上高 3,061 百万円 (前年同期比 27.6% 増) となりました。利益面では、増収効果から、営業利益 19 百万円 (前年同期は営業損失 49 百万円)、経常利益 56 百万円 (前年同期は経常損失 25 百万円)、四半期純利益 36 百万円 (前年同期は四半期純損失 37 百万円) となり、前第 2 四半期累計期間よりいずれも黒字転換を実現いたしました。

取扱商品別売上高の内訳は、下記のとおりです。

商 品 分 類	売 上 高	前 年 同 期 比 増 減 率
機 械	134 百万円	132.9%
工 具	794 百万円	29.7%
産 機	1,504 百万円	25.7%
伝 導 機 器	327 百万円	36.1%
そ の 他	300 百万円	3.2%
合 計	3,061 百万円	27.6%

なお、セグメントについては、当社は機械、工具及び産業機械・器具等の販売事業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりです。

#### ① 資産、負債および純資産の状況

##### (資産)

総資産は、4,690 百万円となり前事業年度末に比べ、218 百万円増加しました。この主な要因は、流動資産においては、現金及び預金が 55 百万円、受取手形及び売掛金が 94 百万円とそれぞれ減少しましたが、一方で、売上高の増加に伴い、電子記録債権が 281 百万円増加しました。有形固定資産と無形固定資産については、減価償却による減少 7 百万円となりました。投資その他の資産においては、投資有価証券が新たな取得 77 百万円と時価評価の上昇 59 百万円により 127 百万円の増加となりました。

##### (負債)

負債合計は、1,752 百万円となり前事業年度末に比べ、150 百万円増加しました。この主な要因は、流動負債において、電子記録債務が 109 百万円増加しました。固定負債においては、繰延税金負債が 16 百万円の増加となりました。

##### (純資産)

純資産は、2,938 百万円となり前事業年度末に比べ、68 百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金は四半期純利益の計上 36 百万円と配当金の支払い 11 百万円により 25 百万円の増加となりました。自己株式につきましては、第三者割当による自己株式の処分により 3 百万円の減少となり、その他有価証券評価差額金が 39 百万円の増加となりました。

なお、当四半期会計期間末における自己資本比率は62.6%となり、前事業年度末に比べ1.6%低下しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ55百万円減少して、540百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は12百万円(前年同期比76.8%減)となりました。その主な要因は、売上債権の増加187百万円、法人税等の支払17百万円等の資金減少要因がありましたが、一方で、税引前四半期純利益64百万円、仕入債務の増加額84百万円等の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は54百万円(前年同期は0.6百万円の収入)となりました。その主な要因は、投資有価証券の売却による収入18百万円と投資有価証券の取得による支出77百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は13百万円(前年同期比82.3%減)となりました。その主な要因は、配当金の支払額11百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出5百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は好調に推移し、2021年4月28日に公表いたしました2022年3月期通期の業績予想に近づく利益水準で推移しておりますが、新型コロナウイルスの影響等先行きの見通を算定することが困難な状況が続いていることから、業績予想は据置きとしております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月20日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	597,024	541,081
受取手形及び売掛金	1,664,532	1,569,988
電子記録債権	373,951	655,522
商品	255,397	230,446
その他	12,515	7,815
貸倒引当金	△460	△600
流動資産合計	2,902,961	3,004,255
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	72,066	69,833
土地	123,211	123,211
その他（純額）	15,861	11,789
有形固定資産合計	211,138	204,833
無形固定資産	8,472	7,527
投資その他の資産		
投資有価証券	1,210,213	1,337,247
その他	150,023	145,228
貸倒引当金	△10,952	△8,563
投資その他の資産合計	1,349,284	1,473,912
固定資産合計	1,568,895	1,686,274
資産合計	4,471,856	4,690,529
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	935,352	910,853
電子記録債務	407,994	517,444
未払法人税等	26,000	38,763
賞与引当金	9,700	20,100
役員賞与引当金	—	6,300
その他	85,759	101,176
流動負債合計	1,464,805	1,594,638
固定負債		
退職給付引当金	2,379	8,707
役員退職慰労引当金	57,200	59,900
繰延税金負債	60,069	76,803
その他	17,516	12,415
固定負債合計	137,165	157,826
負債合計	1,601,970	1,752,464

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月20日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,017,550	1,017,550
資本剰余金	1,174,661	1,174,798
利益剰余金	570,334	595,521
自己株式	△36,931	△33,308
株主資本合計	2,725,615	2,754,561
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	144,271	183,503
評価・換算差額等合計	144,271	183,503
純資産合計	2,869,886	2,938,064
負債純資産合計	4,471,856	4,690,529

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
売上高	2,398,765	3,061,398
売上原価	2,053,683	2,632,419
売上総利益	345,082	428,979
販売費及び一般管理費	394,918	409,031
営業利益又は営業損失(△)	△49,836	19,947
営業外収益		
受取配当金	8,139	6,928
仕入割引	19,732	23,125
その他	1,267	8,110
営業外収益合計	29,139	38,164
営業外費用		
支払利息	495	236
支払手数料	2,560	—
不動産賃貸費用	1,055	971
為替差損	107	671
その他	276	72
営業外費用合計	4,495	1,951
経常利益又は経常損失(△)	△25,192	56,160
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,424
特別利益合計	—	8,424
特別損失		
投資有価証券売却損	683	—
特別損失合計	683	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△25,876	64,585
法人税、住民税及び事業税	5,545	31,016
法人税等調整額	5,629	△3,050
法人税等合計	11,174	27,965
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,050	36,619

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△25,876	64,585
減価償却費	8,762	7,665
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,700	10,400
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,900	6,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,623	6,327
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,800	2,700
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	906	△2,248
受取利息及び受取配当金	△8,605	△10,509
投資有価証券売却損益 (△は益)	683	△8,424
支払利息	495	236
売上債権の増減額 (△は増加)	570,449	△187,026
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,054	24,950
仕入債務の増減額 (△は減少)	△442,391	84,951
その他	△20,082	20,771
小計	77,972	20,680
利息及び配当金の受取額	7,450	9,152
利息の支払額	△495	△236
法人税等の支払額	△33,152	△17,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,775	12,010
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△416
投資有価証券の取得による支出	△11,022	△77,993
投資有価証券の売却による収入	4,316	18,401
貸付けによる支出	△360	—
貸付金の回収による収入	2,925	1,066
その他	4,776	4,217
投資活動によるキャッシュ・フロー	634	△54,723
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	—
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
配当金の支払額	△68,383	△11,540
自己株式の売却による収入	—	3,759
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,433	△5,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,817	△13,229
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,407	△55,942
現金及び現金同等物の期首残高	313,923	596,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	291,516	540,499

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルスの影響や収束時期を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第2四半期累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)及び当第2四半期累計期間(自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)

当社は、機械、工具及び産業機械・器具等の販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。